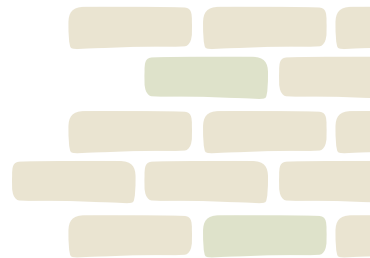


塗装だより Vol.08



特集

外壁に塗装はなぜ必要なのか 再注文は「信頼の証」



横浜本店 夏休み図エクラブ開催

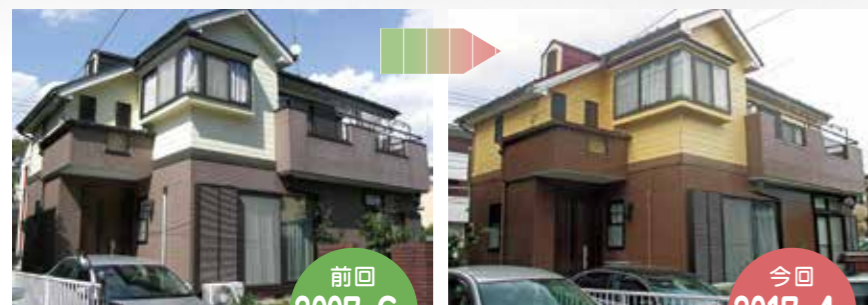
東京店 用賀サマーフェスティバル出店

常時開催 一日塗装体験

再注文は「信頼の証」

十年たったの再依頼。 背筋が伸びる思いで仕事をしました。

●横浜市瀬谷区K様邸



【施工内容】
外壁・屋根塗装改修工事

前回
2007年6月
施工

【見積り担当】菊池
【担当職人】原本

今回
2017年4月
施工

【施工内容】外壁・屋根塗装改修工事

前は地域情報誌に掲載された弊社の記事を読んでご依頼をいただきました。K様邸は、お隣が空き地のせいか砂埃の影響もあり、屋根の傷みが目立っていました。あれから十年経ち再び仕事をさせていただく。塗装職人にとっては背筋が伸びる思いでした。今回は、さらに築年数が経たこともあり、外壁の傷みも進んでいました。私たちの仕事は「劣化した下地を調整し塗装を行い、住まいを保全する」サービス。しっかりと下地をつくり、前回にも増して気持ちを込めて施工をいたしました。このご縁は、これからも大切にしていきたいと切に思います。

前回、塗り替えをさせていただいたのは、2007年のことでした。モダンなドイツ張りの外壁を淡い青の7分ツヤに、そして屋根は黒に仕上げさせていただきました。あれから10年になろうとしていた昨年の秋、O様からご連絡をいただきました。内容は再度、外壁を塗り替えて欲しいとのこと。塗装会社にとってこれほどうれしい連絡はありません。例えば、前回の仕事ぶりが良かったからとか。今回の屋根は外壁に合わせて青色に。「はじめは薄いかな、と思ったが出来上がりは、涼し気になって良かった」とO様。丹精を込めて仕事をさせていただきました。

「前回の仕事ぶりへの評価。 それが再びお願いした理由かな」

●横浜市瀬谷区O様邸



【施工内容】
外壁・屋根塗装改修工事

前回
2007年11月
施工

【見積り担当】菊池
【担当職人】曾根(和)

今回
2017年3月
施工

【施工内容】外壁・屋根塗装改修工事

奥様みずから外壁を塗る! 再注文ならではのフレンドリーな光景です。

●横浜市神奈川区S様邸



【施工内容】
外壁・屋根塗装改修工事

前回
2006年10月
施工

【見積り担当】菊池
【担当職人】須藤

今回
2016年11月
施工

【施工内容】外壁・屋根塗装改修工事

前回(2006年10月)、S様邸に伺った時、屋根は苔が酷く、丹念に高圧洗浄してモルタルの外壁と併せて塗装を施しました。2017年4月に再注文のご依頼を頂き、11年ぶりに、屋根に登ってみるも苔はなく、当時の施工に誇りを感じました。今回は、職人のアドバイスを受けながら、奥様みずからローラーを手に我が家の外壁塗装を体験していただきました。十年来のお付き合いがなければ生まれぬ光景です。

塗装体験の様子は
youtube動画で
ご覧いただけます→



外壁塗装の再注文とは

施工後10数年経て、お客様が、再び同じ塗装会社を指名される。これは塗装会社にとってとても意義のあること。塗装の技術はもとより、仕事の進め方、職人の人間性、お客様へ対して真摯な対応、定期的な情報交換など、確かな品質とキメの細かいサービスがあってはじめて可能になるからです。塗り替えの再注文ほど、塗装会社の信頼度を現わすバロメーターはありません。

(株)塗装職人にとっての再注文

塗装の仕事は塗って終わるではなく、塗った時から始まる、という発想です。屋根や外壁は経年と共に劣化や傷みが進行していくのは宿命なのです。だから、私たち(株)塗装職人は施工に最善を尽くすのはもちろんですが、工事後の点検やフォロー、そしてお客様とのコミュニケーションも重要視しています。施工させていただいたお客様とは2~3年ではなく、5~10年という長いスパンでお付き合いさせていただく。この気持ちをとくに大切にしています。

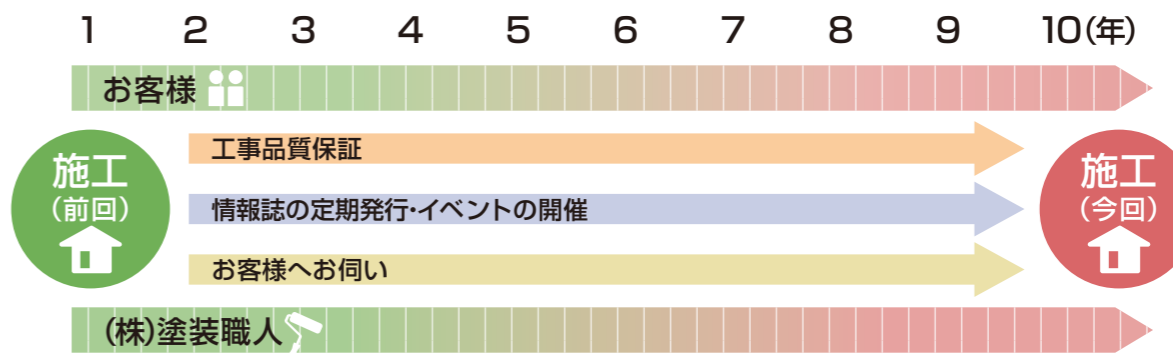
再注文の3条件

職人の手を抜かない丁寧な仕事、徹底した工事管理



お客様に不安やストレスを抱かせない心配り。職人の人間性。 工事後も定期的な顔出しと点検。随時相談対応と情報提供。

お客様へのフォロー



工事品質保証
情報誌の定期発行・イベントの開催
お客様へお伺い

(株)塗装職人

以前のお客様からのご依頼が多くなりました。

外壁塗装の品質は施工後すぐにはなく、歳月が経ってから分かるもの。それだけに、再注文の依頼はお客様から"お墨付き"をいただいたようで、とても誇らしく感じています。最近、以前に施工させていただいたお客様からの多くのご依頼をいただいています。弊社の商圏は、外壁塗装の激戦区といわれる横浜市や東京城南地区ですから、この地域で受注件数を伸ばしているのは「信頼の証」として自負しています。

仕事を認めていただいたようで励みになります。

一度、外壁塗装の施工をさせていただいたお客様宅には、お近くに行ったときには極力顔出しをさせていただき、その後の様子を伺ったり、外壁をチェックさせていただいたりしています。こうした小さなコミュニケーションが次につながるものと考えています。何年も過ぎてから再度ご依頼をいただくほど、うれしいものはありません。なにか、これまでやってきたことを認めていただいたようで、とても励みになります。



見積り担当
菊池光也



見積り担当
岩淵元弥

外壁に塗装は、なぜ必要なのか。

ちらほら目立つ外壁の汚れ、傷み、クラック（ヒビ割れ）……。お隣さんがきれいだったりすると気になりますよね。「うちも塗り替えなくては……」とお考えになる方もいらっしゃるのでは。でも、外壁塗装の目的は見た目の向上だけではありません。建物自体の耐久性や寿命と深く関わっているのです。

どうして外壁は傷むのか。

屋根や外壁は四六時中、外的要因の影響を受けています。休む暇なく雨や風、直射日光や排気ガス、気温の変化、振動などを受けながらいつも建物と家族を守ってくれています。最近では酸性雨の影響も無視できません。ですから、経年とともに徐々に劣化していくのは当然なのです。

建物は方角によって環境が変わり、南向きか、北向きかによって受ける影響も異なります。いつも目にする玄関回りなどに異常がないからといって安心してはいけません。普段、見ることがない建物の裏側に回ってみると、驚くほど劣化が進んでいるケースは意外と多いものです。



簡単にできる!

外壁5つのセルフチェック

新築当時と比較する

新築のときに撮った外観写真を手にとって現状と比べながら見てください。外壁が色あせ、くすんでいるということがないでしょうか。外気や紫外線にさらされ、塗料が退色してきたために起こる現象です。彩度が落ち白っぽくなっていたら要注意です。特に海から5キロ圏内の方は、塩害による劣化も発生するために、内陸の住宅に比べて塗り替えの時期が早まります。



外壁に何かついていないか調べる

住まいの周囲を見回して外壁に注目して下さい。とくに北側の外壁、日が当たらない面に苔や藻などがついていたら、防カビ材入り塗料の効力が失われてる証拠です。



苔やカビは塗替え時期のサイン。ツタは百害あって一利なし。根が壁内結露のカビから躯体も劣化。内部に入り外壁が劣化します。

表面に触れてみる



塗膜の表面が劣化し、粉状に手へ付着したら塗替えの目安。触ってみる事で劣化のサイン、浮きや膨らみが分かります。

よく日の当たる外壁面に触れてみてください。そのときに壁に手をすりつけて白っぽいものがつくときは、外壁の表面の塗膜が紫外線により劣化していることを示しています。

また、大きな凹凸があった場合は、触れたり叩いたりすることで、膨らみや浮きも見つけることができます。

つなぎ目に注目する



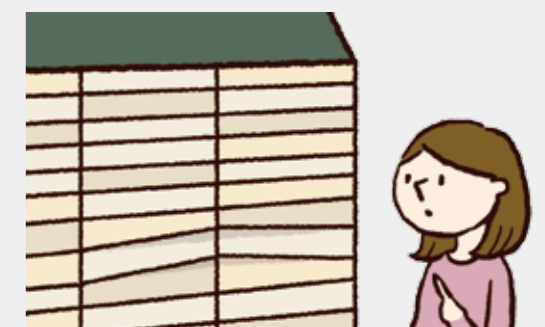
シーリング材は5~10年程度で硬化し耐候性が失われます。劣化によって割れたシーリングに防水効果は期待できません。

サイディングなどつなぎ合わせて施工している外壁材の場合、つなぎ目となるシーリング部分を指で押してみてください。

そのとき、他の部分と比べて固さが異なっていたり、剥離やヒビ割れなどの症状が出ていたらイエローマークです。

外壁塗装の表面の異常を調べる

外壁に顔を近づけて横から見てみます。すると部分によってひずみが出たり、波打っているようなら外壁が浮いている可能性があります。またクラック、剥がれなどの異常が見つかることもあります。



外壁の劣化が肉眼で分かるようなら要注意! 美観を損なっているだけでなく、建物の強度が低下している可能性「大」です。我家の建物を保護し長持ちさせるために、ぜひ塗り替えをご検討ください。

築年数だけを目安にしない。

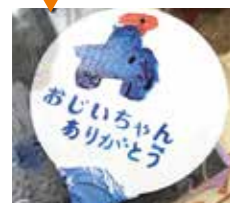
健康な体を維持するために注目されているのが「予防医学」。外壁や屋根に例えてみるとどうでしょう。建物はつねに劣化要因にさらされているので、歳を追うごとに傷み具合は進みます。前回の塗り替えから10年経ったから、塗装をするのではなく、もっと短いスパンでメンテナンスをすることが維持につながり、問題が小さいときに対応すればコストも抑えられます。外壁塗装に早すぎるということはありません！住まいのため、家計のためにも、予防的な見地から定期的な塗装をすることをおすすめします。

劣化した屋根や外壁の問題点。

外壁塗装は美観を取り戻すという役割もありますが、本来は建物に防水を施して寿命を延ばすことが目的です。塗料に含まれる顔料を結合している塗膜(樹脂層)が劣化すると、表面に白い粉を吹き出すチョーキング現象を起こし、さらに劣化するとクラックができ、建物内に水が浸入すると断熱材が湿気を含みカビの発生を促します。また湿気を含んだ柱や基礎などは白蟻を呼び込みます。外壁塗装は、こうした2次的被害を阻止するという重要な機能も果たしているのです。

1

塗装職人
イベントレポート



今年も横浜で開催! 第9回親子のペイント教室 夏休み図工クラブ

7月30日(日)横浜西区ランドマークプラザBUKASTUDOで、恒例のペイント教室を開催しました。お子様と親御さんを対象に、白木の団扇、ハウス型貯金箱、ネームプレートをキャンバスに見立て、思い思いの絵を描いていただく教室。ペイントの取り扱いや塗り方のコツは塗装のプロに手ほどきを受けながら一心不乱に筆を動かしていました。来年も開催しますので、ぜひ、ご参加ください。



当日の詳しい様子は、こちらからご覧いただけます↓
(弊社ブログ)



2

東京店の地元で屋外ペイント教室を初開催! 用賀サマーフェスティバルに 出店しました!



当日の詳しい様子は、こちらからご覧いただけます↓
(弊社ブログ)



8月26日(土)、27日(日)開催の地元のお祭り「第13回用賀サマーフェスティバル」に初参加。夏休み最後の週末ということもあって沢山の親子連れで賑わう中、白木の団扇とハウス型貯金箱の親子ペイント教室も混雑時には予約待ちとなってしまうほどの大盛況でした。手や顔にペンキが付くのも気にせず真剣に筆を握る子供たち。地元の皆様と楽しい時間を過ごすことができました。



本店の打ち合わせスペース。お気軽にお越しください。

3

家族の思い出 一日塗装体験

好評の一日塗装体験は2年目に突入! 塗装がよく分かって、家族の記念になって、報奨が貰える楽しい企画です。



3/18日
開催!

(↑) 職人の指導を受けながらローラーを動かすご主人。(←) インターホンのダメ込みに初挑戦する娘さん。

今年の3月に横浜市旭区のTさん宅で施主と小6の息子さん、中3の娘さんが体験。ご主人はポストの養生、お子さんはダメ込み(刷毛で縁や枠を塗装する作業)に挑戦してから、3人で外壁をローラー塗装。作業後は「楽しかった」と連呼でした。

当日の詳しい様子はこちら(弊社ブログ)からご覧いただけます→



4月は横浜市戸塚区のMさん宅で開催。10歳の甥っ子に体験させたいと施主様ご夫妻がお申込み。3人共、玄関横の外壁を下塗り体験すると、すっかり塗装にハマったご様子。終了後、塗り足りないと言う甥っ子さんの希望で塗装体験初の延長戦を行いました。

当日の詳しい様子はこちら(弊社ブログ)からご覧いただけます→



4/16日
開催!



(→) 現場は楽しい会話で爆笑大会。(↓) 甥っ子と職人が体験初の延長戦を行う。



横浜本店通信

仕事の質・職人の質が「再注文」に現れる。

ここ数年来、弊社の施工依頼で前回の工事から10年以上経過したお客様からのご注文も多くなっています。ネットで手軽に見積もり依頼ができるバーチャルな時代ですが、そういう時だからこそ、実態が伴う本物の工事をより強く訴えていかなければと思う今日この頃です。今にも増して「再注文」をしていただけるように、職人と共に日々努力して行きたいと思えます。(代表・曾根省吾)



本店の打ち合わせスペース。お気軽にお越しください。

東京店通信

地域貢献型の塗装店を目指します!

お陰さまで東京店がオープンして4か月が経ちました。地元の夏フェスへも参加したりと地域密着型の塗装店を目指し日々取組んでいます。さて東京店のある世田谷区では、遮熱塗装に関する補助金の制度があります。こういった制度を理解し、少しでもお客様のメリットになるお手伝いを行ない、みなさまへ貢献します。これからも豊かなお住まいをサポートするため、奮闘していきます。(東京店・二見)



遮熱塗料のカタログと申請書類の案内ファイル。

外壁塗装のご相談、お問い合わせは ☎ 0120-382-361

(株)塗装職人には「プロ中のプロ」塗装指導員が多数在籍!

(株)塗装職人は技能士の育成に取り組み、有資格者の職人達が活躍しています!

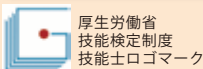
【一級塗装技能士】

厚生労働大臣が認定する、塗装職人の国家資格。

【塗装指導員】

一級塗装技能士の取得者のみ受験資格が与えられる県知事免許。塗装技術の分野での最上位の資格。

正式名は「塗装科職業訓練指導員」。



一級塗装技能士 / 塗装指導員

曾根
【Sone】



(株)塗装職人 代表取締役
経営に専念する社長が多い中で、
塗装のすべてを知り尽くす根っか
らの職人。
現場最優先、お客様第一主義。
塗装を通じてお宅の住まいを再生
させます。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

近藤
【Kondo】



現場に徹し、ペンキを扱う仕事に卓
越した職人だからこそ日の当たらない
のがこの業界。その腕を更に発揮
するべく塗装職人の門扉を叩く。
一人親方で仕事をしていた当初か
ら、一級塗装技能士、塗装指導員
免許を取得。塗装が大好きだから
こそ全力を傾ける。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

須藤
【Sudo】



塗装協会という組合の仲間。
平成15年代表曾根が一級塗装技
能士の検定をする際、合格までサ
ポート。
親子二代目、生粋の塗装職人。
現在は一級塗装技能士の検定補
佐員として活躍。
当然技術は最高レベル。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

竹山
【Takeyama】



代表曾根が通勤途中、他の業者が
施工する塗装現場を発見。
毎日その現場の前を通り、丁寧な
仕事ぶりに間違いのないことを確信。
塗装職人の一員に迎入れたく路
上でヘッドハンティング。
休日は家族とアウトドア楽しむ、2
児のパパ。

一級塗装技能士

市川
【Ichikawa】



刷毛は塗装職人の命。
だから、その使い方には人一倍の
こだわりをもつ実直な職人。
丁寧な仕事ぶりがプライドの証明。
なによりも日々の仕事で納得のい
く出来栄がモットー。
家では二人の子供をもつ職人パパ。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

曾根
【Sone】



代表曾根の甥。
塗装職人としていかに成長できる
かは、当初に技術指導をする先輩
職人の資質が重要。あれから10年、
大ベテランの先輩から活きた技術
を吸収し塗装の技術を確立。
爽やかな笑顔で多くのお客様から
好青年の評価を頂く。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

星野
【Hoshino】



コツコツ、堅実という話が出ると、
必ず登場するのが星野。
手際の良さや丁寧さの技量を評価
され一級塗装技能士、塗装指導員
も一発で取得。養生の丁寧さ、段
取りの良さ、塗装の技術は一級品。
愛妻と子供のため今日も職人魂を
磨く。

一級塗装技能士 / 塗装指導員

原本
【Haramoto】



超技巧派な塗装の匠。
それでいながら気遣いあふれ愛情
豊かな塗装職人。お客様へ細かい
工程説明なども分かりやすくお伝
えし、不安も取り除く。
塗装をライフワークとして取り組
む、職人中の職人。大のウサギ好き
でペットの話となると目を細める。

塗装工事相談員・見積担当

菊池
【Kikuchi】



見積りで大切なのはお客様宅を把
握すること。ご要望をうかがい図面
を精査し最適な工事を提案します。
高い技術とサービスをご納得いた
だけるよう、いつも心がけています。
【資格】 雨漏り診断士
ハナコレマイスター
【免許】 増改築相談員
高齢者向け施工業者

塗装工事全般見積担当

岩淵
【Iwabuchi】



目指すは、お客様満足度地域ナン
バーワンの塗装会社。
優れた技術や知識はもちろん、お
客様へは職人の誠実な人柄をしっ
かりお伝えし、安心して仕事を任せ
ていただけるよう心がけています。
【資格】 高所作業車運転者

(株)塗装職人 会社概要

社名 株式会社 塗装職人
代表 曾根省吾
設立 1991年3月
資本金 2,000万円
住所 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
西谷町1235-9
資格 神奈川県知事免許 塗装指導員
国家資格 一級塗装技能士
二級施工管理技士

認可 塗装工事業：神奈川県知事認可(般-24)第67357号
足場工事業：神奈川県知事認可(般-24)第67357号
所属 (社)神奈川県塗装協会
社団法人 神奈川県技能士会連合会会員
財団法人 住宅リフォーム紛争処理支援センター
(増改築相談員280526号)
神奈川県職業能力開発協会会員
日本ペイント取扱店施工店
URL <http://www.nuru.co.jp>



おもてなし
規格認証 2017
(紅認証)取得

建設業の許可票			
業種区分名称	株式会社 塗装職人		
代表者氏名	曾根 省吾		
一級建築士	許可を受けず	許可番号	許可年月日
二級建築士	許可を受けず	許可番号	許可年月日
一級塗装業	神奈川県知事免許 第348067357号	平成25年1月29日	
二級塗装業	とび・土工事業 第310067357号	平成25年1月29日	
その他建設業	塗装工事業、とび・土工事業		

各イベントのお問い合わせ、お申し込み、お見積りはこちらへ



0120-382-361



050-3737-9747

9時~20時 土日も営業

info@nuru.co.jp

塗装職人

検索



横浜本店

〒240-0052
神奈川県横浜市
保土ヶ谷区西谷町1235-9
<http://www.nuru.co.jp>



東京店

〒158-0097
東京都世田谷区用賀3-13-5
<http://www.gaihekitosou-tokyo.info>
プロが教えるQ&A窓口 03-6431-0730

